

(様式第 12 号) (要綱第 12 第 1 項関係)

平成 30 年度 地域主導型自然エネルギー創出支援事業総括書

事業区分	地域主導型自然エネルギー推進事業 / 地域づくり協議会支援事業 (該当事業に○印)
事業主体 (連絡先)	伊南バイオマス利用連絡協議会 〒399-4117 長野県駒ヶ根市赤穂福岡 9864 大木木材株式会社方 0265-83-3171
エネルギー 種別	木質チップ熱利用
内容区分	導入可能性調査 / 計画策定 / 設備機器導入
総事業費	4,802,652 円 (うち補助金額: 1,847,000 円)

事業内容

- 市内木材チップ生産会社の木質チップ生産・供給体制検証
- 原木等の調達についての検討(間伐材、林地残材他)
- 施設園芸ハウスでの木質チップ暖房の運用データの収集・効果検証
- サービス網の検討および付加価値戦略等を含めた総合的な事業可能性評価と計画作成



【 木質チップ暖房機 】

事業効果

- 市内産チップの供給可能量と適正コストの目安が判明した。
- 市内産原木等によるチップ供給予測がついた。
- 施設園芸ハウスで木質チップ暖房機を補助暖房として使用し、重油削減効果が得られると判明した。
- 木質チップの生産・流通・利用に関わる事業の経済性と事業モデルが得られた。

自己評価 (事業実施率) 【A】

【目標・ねらい】

- チップ供給可能量と適正価格を明らかにする。
- チップ暖房機の有用性を明らかにする。
- チップ利用事業モデルを計画する。

今後の取組み

- チップ暖房機の運用経験を積み、運用効果の向上を図るとともに、施設園芸農家向けの広報をすることでハウス暖房向けチップ利用の普及促進を図る。
- 製造業、観光業等への広報、行政との連携を通じてチップ需要者のベース拡大を図る。
- 全国的なバイオマス事業連絡組織との連携を通じて、地域外へ広く事業成果を伝えていく。

自己評価 (目標達成率) 【A】

注) 自己評価欄は「A」90%以上「B」70~89%「C」50~69%「D」49%以下で示すこと。